

政策	3 夢のふくらむ港	施策推進 責任者	総合開発担当部長 企画調整室長 関連事業担当部長
基本施策	04 うるおいと魅力のある港湾空間の形成		
個別施策	13 人々の交流の場を充実する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	来港者
	サービスの対象物(何を)	ガーデンふ頭及び金城ふ頭
	意図(どういう状態にしたいのか)	人々が交流し、賑わいのある場となる
内容	ガーデンふ頭では、名古屋港水族館など人々が賑わい親まれる港づくりを進めているとともに、金城ふ頭では駅周辺において、商業・娯楽施設を誘致し交流拠点の形成を進めています。今後再開発を進め、人々が交流し、賑わいのある場となるようにしていきます。	
目標	ガーデンふ頭地区及び金城ふ頭地区の施設がより多くの人々に利用されるようにします。	目標達成に影響する外的要因等 景気変動による来港者数減

成果指標	実績等	年度							目標 平成25	指標の説明(式)
		平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25			
ガーデンふ頭施設利用者数	実績	万人	248	224	222	225	241	243	260	水族館、ポートビル(展望室・博物館)、ふじ。(イタリヤ村を含まず) ※平成19年度は開港100周年
	達成率	%	95.4	86.2	85.4	86.5	92.7	93.5		
金城ふ頭施設利用者数	実績	万人	64	65	70	74	61	69	88	本組合貸付地施設のみ
	達成率	%	72.7	73.9	79.5	84.1	69.3	78.4		

2. Do(個別施策を構成する各事務事業の取組内容と今後の方向性)

重点化	担当課名	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な活動・成果指標	平成20年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度							事業費の合計	目標値(年度)	平成25年度実施事業に基づく評価結果									
					実績	実績	実績	実績	実績	実績見込み	平成25年度までの状況 ※1			事務事業 ※2	成果 ※3	コスト ※4	備考(判断の理由等)						
					上段:指標達成状況													下段:事業費(千円・人件費込)					
	(企画調整室) 計画担当	交流機能の施設配置計画の策定(港湾計画の策定)(個13事01)	名古屋港における交流施設の現状分析を行い、他の施設計画との整合と取りながら、交流空間の更なる拡充に向けた施設配置の検討を行います。	策定進捗率(%)	18.5	21.4	24.3	27.1	35.7	42.9	127,981	100 累計(H25)	遅れ	延伸・統合	→	→	社会情勢の変化等を踏まえ、これまで取りまとめた基本方針や施策展開等の検証を行っていくため。(H25→H27に延伸) ・港湾計画の策定に係る事業として統合。						
	(港営部) 関連事業担当	名古屋港水族館の管理運営(個13事03)	定期的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。	入館者数(万人)	190	172	176	179	199	204	1,057,615	200 (継続)	順調	継続	→	→	コストを維持しつつ(指定管理業務)、目標の入館者数を継続するため。						
	(港営部) 関連事業担当	名古屋港ポートビルの管理運営(個13事04)	定期的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。	入場者数(展望室、海洋博物館及び南極観測船ふじ)(万人)	58	52	46	46	42	39	387,965	60 (継続)	やや遅れ	継続	→	→	目標値には達成していませんが、コストを維持しつつ(指定管理業務)、目標の入場者数を実現するため。						
	(港営部) 関連事業担当	名古屋港湾会館の管理運営(個13事05)	定期的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。	会議室の利用率(%)	59.0	54.0	48.0	41.0	44.0	43.0	324,400	43 (継続)	順調	継続	→	→	コストを維持しつつ(指定管理業務)、目標の利用率を継続するため。						
	◎(建設部) 再開発担当	ガーデンふ頭再開発事業の推進(個13事06)	ガーデンふ頭東地区において、民間事業者の進出を前提とした事業化方策を検討します。また、ガーデンふ頭全体における必要な機能、施設等の整理を行い、ガーデンふ頭再開発の事業化方策を検討します。	ガーデンふ頭における賑わいの創出に向けた検討の進捗状況(工程)	-	0.9	1.5	2.0	2.3	2.5	146,109	5 累計(H26)	遅れ	延伸	→	→	水族館に加え新たなガーデンふ頭の魅力を創出するため。工程数を見直し、目標を変更したため目標年度を延伸する。(H26→H28に延伸)						
	(建設部) 再開発担当	本庁舎等整備事業【再掲】(個13事07)	地震・津波などの緊急時において防災・危機管理の拠点となるべき本組合本庁舎の耐震性能を向上させるとともに、港湾会館を合築することについてPFIの事業手法を用いて、港まちづくりを推進していくものです。	事業進捗率(%)	4.0 (59,557)	72.0 (55,881)	100.0 (3,199,769)				(3,315,207)	100 累計(H22)	完了				【本掲】個21事08にて評価する。						
	(建設部) 金城・南5区開発担当	金城ふ頭開発事業の推進(個13事10)	名古屋市のモノづくり文化交流拠点を支援し、金城ふ頭の交流拠点開発を行います。	金城ふ頭立地施設の利用者数(万人)	-	226	212	335	276	294	96,172	622 (-)	遅れ	継続	→	→	人流と物流が両立する交流拠点開発を実現するため。レゴランド誘致により大幅な利用者増が見込める。						
				施策コスト(事業費合計)	188,712	243,085	124,191	101,294	432,047	1,050,913	2,140,242												

注)事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。  
注)目標値欄の「(継続)」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則として平成25年度を中間目標として設定しています。

※1

記入	内容
完了	前年度以前に完了した事業
順調	80%以上の進捗度合
やや遅れ	60%以上の進捗度合
遅れ	60%未満の進捗度合

※2

記入	内容
継続	施策の成果向上・維持のため、事務事業を継続することが妥当
完了	目的を達成したため、事務事業を完了することが妥当
延伸	状況を勘案し、目標年度を先送りするもの
統合	他の事業とまとめ、一体的に評価することが妥当
休廃止	終期を設定し事務事業を廃止または休止することが妥当

※3

記入	内容
拡大	何らかの改善策の実施により成果の拡大を必要とするもの
維持	従来どおり進めていくもの
縮小	一定の成果を達成、必要性が薄れているなどの理由で成果を縮小するもの

※4

記入	内容
拡大	成果の拡大(または維持)のためにコストの拡大を必要とするもの
維持	従来どおり進めていくもの
縮小	一定の成果を達成、必要性が薄れているなどの理由でコスト縮減を図るもの

4. ACTION(個別施策全体の今後の取組の方向性)

次期政策体系への方向性	「次期政策体系への方向性」を判断した理由(本組合財政収支への影響の考察を含む)
成果※3	コスト※4
→	→
・ガーデンふ頭では、再開発の条件整理のための投資も必要となりますが、金城ふ頭とともに民間活力の導入による賑わい創出を進める必要があるため。	
次期政策体系への展開(個別施策の構成、新規事業の創出、事務事業の見直し等)	
・交流機能の施設配置計画の策定(港湾計画)については、これまでに取りまとめた基本方針や施策展開の検証などを行い、平成27年度の改訂を目標に取り組んでいきます。	
・ガーデンふ頭については、早期の賑わいの創出を図るため、開発検討エリアの一部(東地区)について、平成26年度末の民間事業者選定に向けて進めていきます。	
・金城ふ頭においては、物流機能を確保しつつ集客施設を実現するため、集約駐車場整備や交差点改良などを行う名古屋市とともに関係者調整を進めていきます。	

3. CHECK(個別施策全体における取組状況と課題)

現政策体系における主な取組など	現政策体系における課題認識など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流機能の施設配置計画の策定(港湾計画の策定)については、パブリックコメント等を実施し、基本計画の方針、施策展開について検討しましたが、国の新たな成長戦略や総物流施策大綱など、将来動向を見極めながら計画内容を検証していくこととしたため、平成25年度の改訂は行いませんでした。</li> <li>・PFI事業者が指定管理者となり建築整備された名古屋港湾会館新館が平成22年9月から供用開始されました。</li> <li>・水族館・ポートビルの収支差額を施設の高質化等に役立てられるよう本組合の基金に積み立てており、生物の導入、サンゴ大水槽の改修工事等に活用しました。</li> <li>・施設の指定管理者との定期的な連絡調整会議及びモニタリングにより、良好な施設運営が実施されるよう指導・助言を行っています。</li> <li>・ガーデンふ頭については、再開発の実現に向け多数の企業に意向調査を行うだけでなく、再開発の前提条件となる国有地の取得や残存物件の調整等を進めてきました。また、地元関係者や名古屋市とも連携し、築地ポートタウン計画などと調和した開発を行ってきました。</li> <li>・金城ふ頭については、名古屋市のモノづくり文化交流拠点と連携し、JRリニア館や金城・ガーデン航路の開業に伴う調整を行ってきました。集客施設増加による交通渋滞対策やモータープール不足などに対応するため、様々な調整を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流機能の施設配置計画の策定(港湾計画の策定)については、平成27年度の改訂を目標に取り組んでいく必要があります。</li> <li>・良好な維持管理と高質な利用者サービスが提供できるよう、適切な指導・助言を継続していく必要があります。</li> <li>・生物の誕生や施設のリニューアル等について積極的に情報発信し、集客につなげていく必要があります。</li> <li>・金城ふ頭に誘致を進めているレゴランドについては、施設規模が大きく渋滞が懸念されるため、既存事業者と参入事業者の調整を図っていく必要があります。</li> </ul>
現政策体系における事務事業の適正性	
・事務事業構成は妥当です。	